

平成 26 年 6 月 8 日 (日) 施行

第 137 回 日商簿記検定試験 3 級 解説

第 1 問

1. 当座預金に預け入れた ¥150,000 のうち ¥80,000 は当座借越 (負債) の返済に充当する。
2. 収入印紙→租税公課 郵便切手→通信費
3. 減価償却累計額は (¥600,000/5 年) × 2 年 = ¥240,000 より、
 帳簿価額は ¥600,000 - ¥240,000 = ¥360,000
 売却価額は ¥300,000 より、固定資産売却損 ¥60,000
4. 手形割引 割引料 ¥1,000 は手形売却損勘定
5. 内容不明の入金→「仮受金」として処理されている。内容が判明したので、該当する勘定科目へ振り替える。

第 2 問

1 月 1 日 各店の前期繰越額を合計

¥198,000 (播磨商店) + ¥205,000 (筑前商店) + ¥76,000 (豊前商店) = ¥479,000

1 月 5 日 豊前商店に対する売掛金 ¥76,000 が貸倒れ

+

なお、問題文より期首の貸倒引当金は ¥32,000 なので、

(借) 貸倒引当金	32,000	(貸) 売掛金	76,000
貸倒損失	44,000		

総勘定元帳への記入にあたっては、相手方勘定科目は複数なので「諸口」とする。

3 月 11 日 播磨商店への掛売上

(借) 売掛金	400,000	(貸) 売上	400,000
---------	---------	--------	---------

3 月 13 日 播磨商店に対する値引き

(借) 売上	40,000	(貸) 売掛金	40,000
--------	--------	---------	--------

5 月 20 日 筑前商店への掛売上

(借) 売掛金	341,000	(貸) 売上	341,000
---------	---------	--------	---------

5 月 21 日 筑前商店より返品

(借) 売上	26,000	(貸) 売掛金	26,000
--------	--------	---------	--------

8 月 8 日 播磨商店への掛売上

(借) 売掛金	265,000	(貸) 売上	265,000
---------	---------	--------	---------

9 月 25 日 播磨商店に対する売掛金を現金で回収

(借) 現金	539,000	(貸) 売掛金	539,000
--------	---------	---------	---------

10 月 19 日 筑前商店への掛売上

(借) 売掛金	96,000	(貸) 売上	96,000
---------	--------	--------	--------

11 月 7 日 筑前商店に対する売掛金の回収として約束手形を受け取る

(借) 受取手形	457,000	(貸) 売掛金	457,000
----------	---------	---------	---------

12月31日 各店の次期繰越額を合計

¥284,000（播磨商店）＋¥159,000（筑前商店）＝¥443,000

第3問

3日	(借) 仕入	103,000	(貸) 当座預金	100,000
			現金	3,000
5日	(借) 当座預金	50,000	(貸) 売上	450,000
	売掛金	400,000		
※小切手を受け取った後「ただちに当座預金に預け入れた」とあることに注意				
6日	(借) 貸倒引当金	10,000	(貸) 売掛金	10,000
※前期に発生した売掛金なので、貸倒引当金を取り崩す。 残高試算表より、貸倒引当金残高>貸倒高であることを確認すること				
9日	(借) 所得税預り金	6,000	(貸) 現金	6,000
10日	(借) 仕入	150,000	(貸) 受取手形	50,000
			買掛金	100,000
13日	(借) 受取手形	330,000	(貸) 売上	330,000
14日	(借) 仕入	230,000	(貸) 前払金	50,000
			買掛金	180,000
18日	(借) 備品	100,000	(貸) 未払金	100,000
20日	(借) 給料	150,000	(貸) 所得税預り金	6,000
			当座預金	144,000
25日	(借) 支払手形	100,000	(貸) 当座預金	100,000
25日	(借) 水道光熱費	17,000	(貸) 当座預金	17,000
25日	(借) 買掛金	320,000	(貸) 当座預金	320,000
30日	(借) 現金	560,000	(貸) 売掛金	660,000
	受取手形	100,000		
30日	(借) 支払家賃	35,000	(貸) 当座預金	50,000
	資本金	15,000		

※¥50,000×30%＝¥15,000（家事負担分）

第4問

4月1日 ¥1,000,000を借入れ

9月30日 利息¥15,000を支払い

支払利息：6か月間で¥15,000 → 1年間で¥30,000

12月31日 利息の見越計上：¥30,000×(3ヶ月/12ヶ月)＝¥7,500

残高¥15,000＋¥7,500＝¥22,500を損益勘定へ振替

第5問

[未処理事項]

1. 約束手形の決済

(借) 当座預金	50,000	(貸) 受取手形	50,000
----------	--------	----------	--------

2. 売買目的有価証券の売却

残高試算表より、売買目的有価証券の帳簿価額は¥360,000

(借) 未収金	380,000	(貸) 売買目的有価証券	360,000
		有価証券売却益	20,000

[決算整理事項]

1. 現金過不足の処理

(借) 現金過不足	1,000	(貸) 雑益	1,000
-----------	-------	--------	-------

2. 貸倒引当金の設定

受取手形勘定残高は、残高試算表と未処理事項1より $¥350,000 - ¥50,000 = ¥300,000$

$(¥300,000 + ¥400,000) \times 3\% = ¥21,000$

残高試算表の貸倒引当金は¥8,000であるから繰入額は $¥21,000 - ¥8,000 = ¥13,000$

(借) 貸倒引当金繰入	13,000	(貸) 貸倒引当金	13,000
-------------	--------	-----------	--------

3. 売上原価の算定

期首商品棚卸高は残高試算表より¥290,000

期末商品棚卸高は $@ ¥700 \times 500 \text{ 個} = ¥350,000$

(借) 仕入	290,000	(貸) 繰越商品	290,000
繰越商品	350,000	仕入	350,000

4. 備品・建物の減価償却

[備品] 残存価格ゼロ、耐用年数6年より、備品 $¥600,000 / 6 \text{ 年} = ¥100,000$

(借) 減価償却費	100,000	(貸) 備品減価償却累計額	100,000
-----------	---------	---------------	---------

[建物] 残存価格10%、耐用年数30年より、建物 $(¥1,500,000 - ¥150,000) / 30 \text{ 年} = ¥45,000$

(借) 減価償却費	45,000	(貸) 建物減価償却累計額	45,000
-----------	--------	---------------	--------

5. 引出金の処理

(借) 資本金	87,000	(貸) 引出金	87,000
---------	--------	---------	--------

6. 消耗品費の繰延

(借) 消耗品	4,000	(貸) 消耗品費	4,000
---------	-------	----------	-------

7. 保険料の繰延

10月に支払った支払保険料¥60,000のうち1月～9月分までの9か月分が前払分である

$¥60,000 \times (9 \text{ ヶ月} / 12 \text{ ヶ月}) = ¥45,000$

(借) 前払保険料	45,000	(貸) 支払保険料	45,000
-----------	--------	-----------	--------

8. 支払地代の見越

(借) 支払地代	90,000	(貸) 未払地代	90,000
----------	--------	----------	--------

9. 受取利息の見越

定期預金残高 $¥900,000 \times 0.3\% \times (146 \text{ 日} / 365 \text{ 日}) = ¥1,080$

(借) 未収利息	1,080	(貸) 受取利息	1,080
----------	-------	----------	-------